

# ニーズレター

(2010年 夏季号)

グループホームネット香川

## もくじ

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| ○新・理事長挨拶              | .....(2) |
| ○2010 年度総会報告          | .....(4) |
| ○事務所移転のご報告            | .....(4) |
| ○ほちほち「コーポ ビアース」便り     | .....(6) |
| ○ビアース 2 号館 便り         | .....(7) |
| ○ビアース 3 号館 便り         | .....(7) |
| ○ビアース 4 号館 便り         | .....(7) |
| ○「サービス管理責任者」として働きます!! | .....(7) |
| ○新・事務局挨拶              | .....(7) |
| ○理事より一言               | .....(7) |
| ○活動カンパのお願い            | .....(8) |

## ▼△▼△ 新・理事長挨拶 ▼△▼△

### 「伝えたい事」

### うちだはかる

この度、岩佐理事長の後を継いでグループホームネット香川の新理事長として、この2年を担うことになりました内田です。

振り返りますと、1997年11月にニーズレターの初刊から13年が過ぎようとしています。当初「香川の精神保健福祉を考える会」としてこの会は発足しました。考える会ですから、随分と考えてきたものです。議論は夜半を過ぎる事も珍しくは無く、熱き想いに包まれていました。その後、具体的な活動をもとめるようになり、「ポストの数ほどグループホームを」を合言葉に、住む場所作りをはじめの事になりました。

いま私達は、四ヶ所のホームを運営しています。そこに暮らす人たちは、それぞれに生活上の生きづらさを抱えています。そして、入居者と日常の関わりを持つホームワーカーの方々の苦労も多くあります。

日々をどう重ねていこうかと、暗中模索することも多々あるかと思えます。が、生きづらさを抱えながら毎日を送っている入居者の生活の重さに関わることを、大切にしたいと思えます。

私達が忘れてはならない事は、グループホームを運営するのは、会の「手段」であって、会の「目的」ではないという事です。何度でも、その基本に立ち返ることを忘れないようにしたいと思えます。

この度、新たに事務所を借りる事ができました。新事務局長の下、職員間の連携を持ちながら、新たなる構築の出発をしたいものです。そのためには、みんなの知恵と力を結集する事です。

折り合う事が力です。

●○●○ **2010年度総会報告** ●○●○

☆☆☆ **事務所移転のご報告** ☆☆☆

ぼちぼち「コーポ ビアース」便り

**ビアーズ2号館 便り**

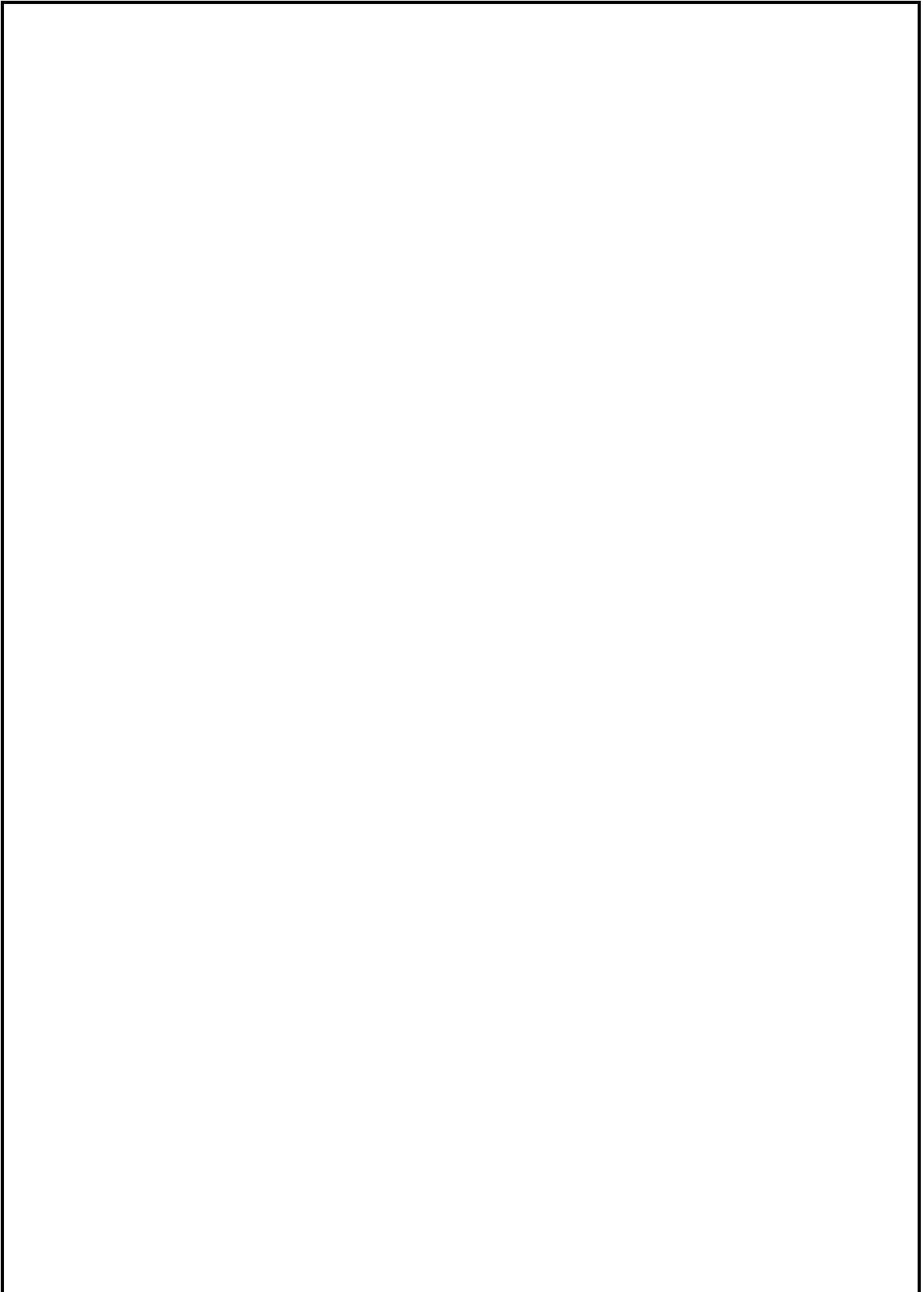
**ビアーズ3号館 便り**

**ビアーズ4号館 便り**

**「サービス管理責任者」として働きます!!**

**新・事務局挨拶**

**■■■■■ 理事より一言 ■■■■**



## 活動カンパのお願いです！

会員の皆様には、日頃より当法人の活動に物心両面からのご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、皆様のお手元に前回のニーズレターをお届けしてから後、当法人の運営するグループホームは合計4つに数を増やしました。当初の増設計画にのっとって、2007年1月には春日町にビアーズ3号館、2008年11月には百間町にビアーズ4号館がそれぞれスタートし、グループホーム利用者の合計人数は、現在28名となりました。この勢いに乗って、毎年どんどん新しいグループホームを増設していこう！と意気込んでいたのですが・・・。

グループホームの数が増え、受け入れる利用者の人数が増え、当法人で働くホームワーカーさんの人数も増えてくると、今度は運営面で新しい問題に取り組む必要が出てきました。まず、利用者の人数が大勢になればなるほど、一人ひとりの方について理事全体では細かく把握しにくくなり、担当ホームワーカーの現場での対応責任が問われることになってきます。その重大な役割を十分に果たせるよう、各ホームワーカーへの研修の充実が切実に求められるようになりました。また、それぞれ「ひとり職場」で別々に働く職員同士が、法人からのバックアップを受けながら連携してサービス提供に当たれる環境を整えることが、グループホーム事業全体を統括していく上で必要になってきました。

グループホームが増えるにつれ浮上してきた運営上の問題は、5号館の新設計画を進める中で、どうしてもこれを解決しなければ先に進めないことが明らかになりました。そこで理事会は、2009年度には法人組織の整備に目を向け、事業全体を支える土台をしっかりと築きなおす計画を立てました。その結果、事務局長が責任者を務める新事務局体制と、グループホーム事業部門には全体のマネジメントにあたる「サービス管理責任者」を配置するという新体制が、2010年度7月からスタートする運びとなったのです。

そこで、ここはひとつ、会員の皆様を中心として当会の活動趣旨にご賛同くださる方々に、広く資金協力をお願いを呼びかけることといたしました。

誰にとっても障害を抱えながら地域生活が可能な社会、本人の意思を尊重した自立のあり方について、制度面から広く議論されているまさにこの時… 実際に暮らしていく上での現実問題を、より良い生活の場を提供することで支える「グループホーム」、その「自立」への柔軟な利用可能性にご期待いただき、有意義な“投資”をお願いしたい！という熱き思いです。カンパや出資などご都合のよい方法で、グループホームの立ち上げ資金集めにご協力を、是非よろしく願いいたします。

◆正会員 年会費 3,000 円 / ◆賛助会員 年会費 2,000 円

<振込口座> ※大変恐縮ですが、手数料のご負担をお願いします。

【百十四銀行】 中央市場支店 店番 2 1 3

普通預金 0252017

